

志木ロータリークラブ

2025-26年度 国際ロータリー 会長 フランチェスコ・アレツツオ 「UNITE FOR GOOD」

2025-26年度 第2570地区 ガバナー 坂口 孝 「よいことのために手を取りあおう」

2025-26年度 志木ロータリークラブ 会長 金剛光裕 「前進」

第2448回 例会

2025-12-3

- ◎司会 吉原 正 副会長
- ◎点鐘 金剛 光裕 会長
- ◎ソング 君が代・奉仕の理想
- ◎ソングリーダー 市之瀬正靖 会員
- ◎四つのテスト 市之瀬正靖 会員
- ◎ゲスト 仲村 直人様（日本経済新聞社）
- ◎ビジター 飯田 豊様（朝霞RC 幹事）



「黙祷」



坂口孝ガバナーのご冥福をお祈りして黙祷

「会長挨拶」

会長 金剛光裕

皆様こんにちは。会長の金剛です。よろしくお願ひ致します。

さて、皆様にもご案内あったと思いますが、本年度の当2570地区坂口ガバナーが先日お亡くなりになりました。突然の訃報に皆様もびっくりされたと思います。

7月にガバナー訪問頂いたときは、とても元気でにこやかにお話しされていたのをとても良く覚えています。春の地区の研修の際も、とてもにこやかで深い見識を持ってお話ししされていらっしゃいました。

10月に急遽入院され、他クラブのガバナー訪問が延期となり、とても心配しておりました。地区大会は、場合によったら車いすでお見えになれるかもしれませんと聞いていたのですが、それもかないませんでした。突然発覚した病、私事ですが、実兄が本年2月に急逝しましたので、とても他人事とはとらえられませんでした。奥様をはじめご親戚や関係者の方々のお気持ちを思うと胸が張り裂けそうです。

人生、何があるかわかりません。その時その時の一瞬を大事にして、健康管理に気を付けましょう。私は人間ドックで肺CT検査で極初期の病変がみつかりましたが、5日間の入院で部分切除し全快となり今に至ります。もう15年たちました。

諸行無常は世の常とはいえ、なかなかつらいものです。物事は生々流転致します。ひとつとしておなじ状態はありえないということです。今を大事にしましょう。

さて、先週の24日月曜日、またまた泉谷しげるさんのライブに熊谷のライブハウスへ行ってまいりました。あいかわらずの一曲目からの全力ライブ、いきなり倒れるんじゃない

12月は「疾病予防と治療月間」です

かと心配するようないつも通りの熱血ライブでした。本人曰く、年々体力がついて、益々頑張れるとおっしゃっていました。泉谷さんは小児麻痺で片足を引きずっていますが、そんなことは言い訳にせず一生懸命一曲一曲丁寧に演奏されてました。

最後はまともに歩けず肩を抱かれて帰られました。普段外出の時は、杖を持っているそうです。

泉谷さんの曲に「春夏秋冬」という曲があります。ご存じの方も多いと思いますが、唯一メジャーで売れた曲です。ライブの最後、アンコールの前に必ず歌います。「今日すべてが終わるさ 今日ですべてが変わる 今日ですべてが報われる 今日ですべてが始まるさ」という一節を観客と一緒に何度もリフレインしながらこう言いました。「おまえらい今まで色々なことがあつただろう いい事悪い事様々なことがあつただろう だからせめてだからせめて 今日だけは自分だけの今日にしろ」と言われて一緒に歌わせてもらいました。皆様も従業員さんやご家族のため毎日一生懸命働いてると思います。ですから、どこかで自分のための楽しみを見つけてください。どこかで気持ちを抜くという事は大事な事だと思いますので少しでもそのための時間をつくりましょう。買物でもいいです。散歩もいいです。推し活でもいいです。人に頼ることなく、自分の機嫌は自分でとりましょう。

本日もよろしくお願ひ致します。

「理事会報告」(12/3分) 会長 金剛光裕

- 次年度(國分年度)役員の件
承認→全会員に告知する。
- 小泉市朗会員の退会が承認
- 移動例会(靖国神社参拝及び懇親会)
収支報告の件→承認
- 志木駅地下道清掃クリーニングの件
→作業期間:令和7年11月10日~11月29日 (株)西浦塗装工業により施工完了
- 12/16(火)年忘れ例会の件
詳細報告→全会員に案内済
- 1/7(水)例会の件
宮原克平会員の卓話→確認済
- 1/15(木)新年会の件

出席は会員の義務です。メークアップを忘れずに!

- 朝霞RC 毎週(火)12:30~ 埼玉りそな銀行朝霞支店
- 新座RC 毎週(木)12:30~ ベルセゾン

ベルセゾン 18:00~

宮原克平委員長→新会員オリエンテーションあり

8. 1/28(水) 例会の件

イニシエーションSP(長島会員、山形会員)

9. 親睦旅行の件

→4/12~4/13 行程表、見積書を報告

10. 3/29(日) 志木市さくらフェスタを例会扱いとする。寄付金¥10,000を承認

11. 坂口ガバナー葬儀の件

→12/9(火) 会長、幹事お通夜参列

香典料¥10,000- 志木クラブで供花

12. 事務局用ノートパソコン購入を承認(見積書あり)

13. 5/9(土) 志木市川と街の清掃を例会扱いとする。

「幹事報告」

幹事 塩野 章

1. 国際ロータリー日本事務局より2件受信

①12月のRI為替レート\$1=¥156

②疾病予防と治療月間リソース案内

2. 地区事務所より2025-2026年度職業奉仕委員会セミナー開催案内受信

日時: 令和8年2月1日(日) 点鐘14:00
(13:30登録開始)

場所: 東松山文化センター

内容: 講演他

3. 朝霞青年会議所賀詞交換会案内受信

「今月の誕生日祝」 親睦活動委員 木下哲男



6日 竹下尚宏会員 12日 鴨下秀幸会員

17日 武藤典夫会員 18日 泉谷友広会員

25日 林 康雄会員 25日 三上隆俊会員

第2グループ各RC 例会日・会場一覧(順不同)

事務局 048-466-3770

事務局 048-473-7041

12月は「疾病予防と治療月間」です

「誕生日スピーチ」

武藤典夫会員

誕生日お祝いいただきました。ありがとうございます。1944年、昭和19年12月17日ですから81になったわけですね。

当クラブでも残念ながら、原さん、高野さんだとかね、岩下さんのお坊ちゃんもそういうことになってしまったんですけど…。

もう4、5年ね、皆さんと一緒にいて、ちょっと世の中に尽くしていきたいなと思っています。

(談)

「委員会報告」

●青少年奉仕委員会 委員長 宮原俊介 秋の非行・薬物乱用防止キャンペーン協力



11月30日志木市民まつりにおいて秋の非行・薬物乱用防止キャンペーンへの協力を実施しました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。お祭りも天気が良くて非行防止のキャンペーン活動も無事行いましたのでご報告いたします。

●地区ロータリー希望の風奨学金委員会

地区ロータリー希望の風奨学金委員 西川和人

今月もお手元に「風の便り」をご案内させていただいております。

7月新年度の頃には、比較的ご支援をいただける皆様が多いのですけれども、ここから3月にかけて一旦トーンダウンをします。3月は震災が起きた月でございますので、皆様、その月に合わせて支援をいただいているというような年間の流れもございます。今回、医療関係、また福祉関係のお勉強をなさっていらっしゃいます奨学生のコメントが掲載されておりますので、皆様ぜひご一読いただきたいと思います。

例会は変更になる場合があります。ご確認下さい

- 和光RC 毎週(月) 12:30~ うけら庵
- 富士見RC 每週(金) 12:30~ 島田ビル1F

「卓話者紹介」

星野博之会員



日本経済新聞社の東京本社から仲村直人様に来ていただいております。仲村さんは私もお取引関係でずっとお世話になっていまして、快く卓話を引き受けさせていただきました。この中では高橋健ちゃんがいろんな意味で駅前で小林八郎さんとよく飲みましたね。よく知ってる仲でございます。

また、日本経済新聞社は今年150周年を迎えております。それで、2階に経済の歴史的な展示会が開催されておりますので、ご紹介をさせていただきました。

「卓 話」

「日経新聞から見えてくる世界と日本経済の未来」

日本経済新聞社 サブスクリプション事業
エリアセールスユニット 首都圏2部 次長 仲村直人様

この度はお招きいただきありがとうございます。

日本経済新聞社の仲村と申します。主に埼玉県における日経各紙の販促活動を担当しており、その一環で様々な企業・団体様に伺って日経の読み方講座を開催しております。

今回は「日経新聞から見えてくる世界と日本経済の未来」と称して、日経新聞の記事を参考しながら経済小話をさせていたきたいと思います。

私は新聞記者ではありませんので、あくまで日経新聞の一読者として日々経済に触れている立場から説明させていただきます。

最初に、「そもそも日経新聞とは?」という

第2グループ各RC 例会日・会場一覧(順不同)

事務局 048-455-0088

事務局 049-251-6596

2448-3◇

志木RC会報



ことからお話しします。

一言で言うと「経済を中心とした総合情報紙」です。

経済というと硬そうなイメージがありますが、難しそうない、というのがポイントで一般向けにまとめられています。

購読数は電子版含め約236万部でグループのFTを合算しますと経済メディアとしては世界No.1となり、日経新聞は、「ビジネス社会の共通言語」と言われています。

今回は、いま世界で起きていることについて経済を中心に解説します。

ご自身のお仕事や身の回りの環境に引き付けて考えてみてください。

最初にご注目いただきたいのが、GDPランキングです。アメリカが圧倒的一位であることがわかります。

イメージとしては世界全体に対する影響力の7割程度はアメリカである、ということです。(※大体こうですよ、という事を言葉で表現する際に、私はよく「7割」と言っています。)

アメリカのすごさ、要点3つです。

①石油生産量世界1(主にシェールオイル)

②先進国なのに人口が増えている

③圧倒的な経済優位性

人口増で経済が広がり、企業に投資が行われ、米企業の圧倒的優位を招いています。資産価格が上がり不動産担保価値上昇等による融資が行われ、そのお金が再び株式市場に流入するという順回転も起きていると言えます。

(現在、景気減速懸念で微妙になってきていることも確かですが…)

次に日本についてですが、日経平均株価が史上初、5万円を突破しました。

構成銘柄の単純平均をもとに修正を加える方法で算出しているため、株価の高い銘柄(値がき株)の値動きの影響を受けやすい特徴があります。

アメリカの影響を受け、半導体やAI関連等が構成比率上位に来ています。

89年のバブル崩壊までは土地・不動産価格の高騰に起因した担保価値上昇による融資が行われ、そのお金が株式市場に流入し株価高騰となったと言われています。

サラリーマンには家が買えない、というレベルまで住宅価格が上がってしまったため、政府は段階的な利上げと、不動産分野への融資増額を事実上禁止する総量規制を実施しました。その結果、順回転していた経済が逆回転となり不動産価格が暴落、同時に株式市場は崩壊しました。

今再び、似たような状況になっていると思いませんか?

都内のマンション価格は高騰を続け、一般サラリーマンが購入するのは厳しい状況になってきています。転売規制や外国人の購入規制等ムードが変わりつつあります。

物価高対応を中心に歳出が膨らみ、財政懸念による金利の上昇も気になる所です。

日本の名目成長率は25年度3.3%と予想され、長期金利が2%に到達しても名目成長率が名目金利を上回る状態が当面は続くという見込みです。

ですが、金利が一段と上昇したところに思うほど成長が伸びず、成長率が金利を下回ってしまえば、政府債務残高のGDP比は悪化して政府の利払い負担も増し、残されたのは巨額の債務だけということにもなりかねません。

過去の金融危機を受け、世界は金融システムを安定させるために、自己資本の増強に取り組みました。それが金融機関の自己資本規制(バーゼル規制)です。

これは国際決済銀行(BIS)による8%ルールという考え方です(※細かい基準が数々存

12月は「疾病予防と治療月間」です

在します)。銀行は貸出金等の資産に対する自己資本の比率が8%以上でなければならない、というものです。

銀行の融資総額が100億円である場合は、自己資本として8億円を確保しなければなりません。

銀行は自己勘定部門で不動産や株式等様々な投資をしています。

今は不動産価格や株価が上がっているため、自己資本比率に余裕があります。

しかし万一、経済危機等が起きて株式市場が崩壊し、逆回転を始めるとどうなるでしょうか。

銀行は融資等リスク資産を減らして自己資本比率を確保しようとするでしょう。お金が借りにくくなったり貸しはがしが起きたりするかもしれません。

銀行はどこに融資しているのか、という事について日経の記事がありました。

不動産への融資比率が年々上昇し、80年代のバブル期に比べ1.5倍の18%になっています。今は不動産価格が上がり、問題が顕在化していませんが、一旦不動産価格が下がり始めると良くないことが起きる、というのは前述の通りです。比率が増えているということはその分影響も大きくなっているということが言えます。

上記の通り銀行は様々な規制の影響を受けるため、世界で見ると金融システムの中心は銀行からノンバンクへ移り始めています。世界の金融資産の分布状況によると銀行規制の枠外で資産拡大が続き、全体の約半分はノンバンクによる金融仲介となっています。

リーマンショック時のサブプライムローンと同様に、その融資基準は厳格とは言えないため、一旦市況が悪化すると深刻な経済危機に発展する可能性もあるかと思います。

世界経済は金融に依存している部分があり、さらにそれは株価等市況に左右される、という事実があります。ぜひ意識してニュースを見てみてください。

以上が主な卓話の内容となります。

最後に改めて、日経新聞を読む意味について

お話ししたいと思います。

記事の中で 小峰隆夫 日本経済研究センター理事・研究顧問が良い話をされていたので紹介します。

「一般の人に経済について質問するのと、経済学者に問うのとでは結果がずいぶん違う。なぜズレが生じるのか。世の中が経済問題を認識するにはタイムラグを伴うためだ。たとえばバブル、不良債権、デフレといった現象は、当初はあまり問題視されなかった。バブルならはじけてから、不良債権なら金融危機が起きてから、初めて問題の大きさを世論が認識した。一方で経済学者やエコノミストは世間一般にくらべ、経済の問題に早く気づいている場合が多い。政治は国民の方を向くので認識の遅れが政策の遅れにそのまま反映されてしまう。それは問題だとしても、せめて専門家が世論と異なる意見を持っていることを知ってもらう必要がある。」

非常に示唆に富む内容です。

また元メジャーリーガーのイチロー選手はこう言っています。

「小さなことの積み重ねがとんでもなく遠くへ行く唯一の道だ。」

経済のしくみは世界共通です。基本がわかれれば世界がわかります。

たとえ今日、日経を読まなかつたとしてもそれは小さな差に過ぎません。

しかし、1年、5年、10年…と毎日コツコツ読めば、それが血となり肉となり、やがて大きな差となります。

日本経済新聞は必ず皆さんのお役にたちます。

あなただけのものさしを、ぜひ日経新聞で養ってみてください。

個別に企業に伺って、今回のように日経をご紹介するセミナーも行っています。

もし関心がございましたら是非お声がけください

(e-mail :)

ありがとうございました。

12月は「疾病予防と治療月間」です

●出席報告	出席向上委員 小林八郎
11月のメイクアップ	11月の平均出席率
2名	85. 66%